

モラルの低下は、医療界のみではない。日本中で荒廃しきっているといっても過言ではない。

初めに騒いだのは**建築強度偽装**で、姉齒だったかの表情をみていると、もう死刑になった宮崎勤を思い出したのは、ワタシだけではないだろう。・・・全くの他人事のような無表情で、空恐ろしさを感じた。

その後は、不祥事が次々と露見した（つまり、バレた）**公務員のたかり体質**。タクシーチケットを使っての帰宅は必要なら仕方がないが、運転手から「接待」をうけるなどといえ、無理矢理勤務時間を遅らせてチケットを使っていた、としか考えられない。防衛省といえその次官が、高給をとりながら娘の留学費まで関連会社に負担させたり、「世界一高い給料をとっている日本の公務員」（ゴルゴ 13）としての使命感も何もあったものではない。ましてや、**国防を担う連中の無防備さ**は、亡国への一里塚である。輸出禁止の無線ヘリコプターを輸出して、兵器への転用可能なことはわかっている。・・・こいつら、自分はともかく、自分の子や孫がそれによって攻撃され殺されるかも知れない、ということも想像もできないのだろうか。・・・

次に、**食品の産地偽装**だろう。・・・これは船場吉兆がダメ押しのようなものであったが、鶏肉、養鰻、牛肉・・・まだまだあるだろうが、そのうち思い出さるだろう。これについては、国民側にも問題があるかも知れない。味もわからないのに「国産・国産」と騒ぐから、ちょっと頭を使えば**国産**といえ信用されると考える輩がでてくるのは仕方がないことかも知れない。

この稿で述べるのは、三笠フーズによる**汚染米・事**

食糧自給率をせめて今(39%)の倍にするべきだろう。米にしても、かつて青々とした稲を刈り取らせたのはだれか?・・・農水省とその一味である農協ではなかったか。その場しのぎのアイデアをだして、何を考えたか、有明湾を干拓して農地をふやす。エッ?!

ボクが危機感を抱くのは、日本人がこういう「詐欺」をはたらく、ことに対して「恥じることがなくなる」ことである。信義もなにもない。すでに銀行のときに述べたのだが、いくら儲かってもそういうさもないことはしない、のがわれわれの暗黙の了解事項だったはずである。

もうひとつ気に入らないことがある。TVで三笠フーズのことを報道するたびに、枕詞のように「大阪の」がでてくる。いかにも大阪商人**全部**がそういうことをしているかのような表現で、東京人が大阪に嫌われるのはこういうところである。・・・東京にはそんな業者はいないとでも言いたいらしいし、大阪以外は大丈夫とでも言う気かいな。ほんだら、秋田はどやねん、愛知や函館はどやねん。ニュースのたびに腹が立つ。さらにさらに、米の出処はベトナム米で、とわざわざ報道する。ベトナム人は農薬まみれの米を平気で食べている、とでも言いたいのだろうか。こんな失礼な話もない。彼らは、米軍の枯葉剤を頭から被ってきた人々である。自分たちが食べる米には農薬を控えて、日本向けの輸出米は農薬まみれにする。なぜなら日本の商社マンが儲けに目がくらんで、黴や虫の害をなくすために農薬まみれにさせた。そうでないと「日本では売れない」などと言っているような気がする。これを言いだせば、天下り役人の役得という話もでてくるであろう。

そしてこれを問題にするならどこの国の米も危険だろう、中国もタイも、米国もオーストラリアも。・・・もともと、ベトナム人農家に言わせると、「日本人は、まっすぐのキュウリしか食べへんで」と無理難題を要求してきたのは、日本の商社マンだろうが！ NHKなんか節操がないから、今になって**国産のレモン**を使用して、という。サンキストが出現したとき一緒になって、国産レモンを駆逐した責任の一端があるのに謝罪したなどときいたことがない。

たまたまバレたから、あちこちの話をいうが、どこの地方も関係ないやろ。みなつながってんねんから。・・・ジミー大西が言う「はい、すみませんでした。嘘ついてました。」ギャグにもなれへん。本当のことやから。

醸造会社も、損害賠償の請求をしているが、結局は、「やすかろう、悪かろう」だったのではなかったのか？（これについては証拠を持たないから、勝手な憶測と叱られるかもしれない。）酒造りの過程は忘れたが、米に火をいれる作業があつたら、その色艶とか匂いで変だと思わなかったのだろうか。小生の友人が言う、「まれにもち米の古米を持ってきて、赤飯を頼む人がいてはるねんけど、蒸籠で蒸したら、匂いが絶対にとれへんねん。」このあたりのレベルになると、見ただけで米の良し悪しがある程度わかるという。まあ、当然だろう、プロやねんから。

だから、たとえば「簡易毒素（農薬）測定器」みたいなもんはないのやから、その素性を吟味するしか自衛の手段がないのではないか。

どこそこの店の米は事故米（**事故米**という表現自体に、自分たちには責任はない、と言いつけているみた

いな表現だ) でした、などと公表する必要など、どこにもない。仮に、その結果店の信用がなくなり、きちんとした米で作ったものまで怪しい、などと思われたら死活問題である。これを風評被害という。農水省としての責任逃れと言われても仕方がない。農薬はある程度仕方がないと思う。だからといって「**安全域**だから安心せえ」というのも、市民感情としては承服しがたい。開き直りとしかたれない。 2008.10.20.